



ボランティア紹介リレー

第39回

今回は『蛙家(かえるいえ)』さんからの紹介で
『すきっぷとハンモック』さんをご紹介します!

代表の清水さんと中井さんにお話をうかがいました。

「すきっぷとハンモック」とは?

「すきっぷとハンモック」は、不登校の子どもをもつ保護者を対象に、毎月1回“おしゃべり会”を開催しています。活動のきっかけは、2023年に参加した不登校に関する全国的なイベントでした。そこで出会った保護者同士のつながりを、一度きりで終わらせたくないと思い、安心して悩みや経験を話し合える場をつくろうと活動を始めました。私たちは支援者ではなく同じ立場の当事者です。だからこそ、アドバイスをするのではなく、参加者一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる場や情報交換の場になればと考えています。

「すきっぷとハンモック」という名前には、つらいことは受け流しながら「すきっぷ」をするように軽やかに歩いて進んでほしい、時には「ハンモック」で休むように、立ち止まってゆっくり休むことも大切にしてほしいという思いを込めています。

活動のやりがい・魅力は?

参加してくださる皆さんが気持ちを共有し、温かい言葉を掛け合う姿を見ると、安心して過ごせる居場所になっていること、そして思いが伝わっていることを実感し、とても嬉しくなります。問題そのものがすぐに解決するわけではありません。それでも、参加を重ねるうちに表情が柔らかくなり、安心して話されている姿を見ると、「続けてきてよかった」と感じます。



最後にひとこと!

悩みを抱えていても、一歩踏み出すことは簡単ではありません。無理をする必要はないので、気が向いたときに一度のぞいてみてください。「このような場所があること」や「同じ悩みをもつ人がいること」を知ること、気持ちが少しでも楽になってもらえたらうれしいです。

おしゃべり会は予約不要です。開催日程はInstagramでお知らせしていますので、ぜひご確認ください。

「すきっぷとハンモック」さんInstagramリンク⇒
https://www.instagram.com/skip_to_hammock/
※最新情報はリンクからInstagramをご確認ください。



おすすめ福祉の本

ともだち



図書館で借りる
ことができます。

作 くすのき しげのり 絵 よしむらめぐ 小学館

主人公の女の子は、引っ越してきた男の子に友だちになろうとごあいさつ。しかし、何度声をかけても、男の子は知らんぷり。ようやく気づいてくれたと思ったら不思議なしぐさをしています。それは「こんにちは」を表す手話でした。

二人が「ともだち」になっていく様子を通して、相手に興味をもち、理解しようとする大切さが描かれています。一つずつ手話を覚えて思いを伝えようとする女の子、それに応える男の子、そして二人を温かく見守る大人たち。登場人物みんなの笑顔が印象に残ります。巻末には、手話がわかりやすく紹介されており、実際に手話に親しむきっかけになる一冊です。